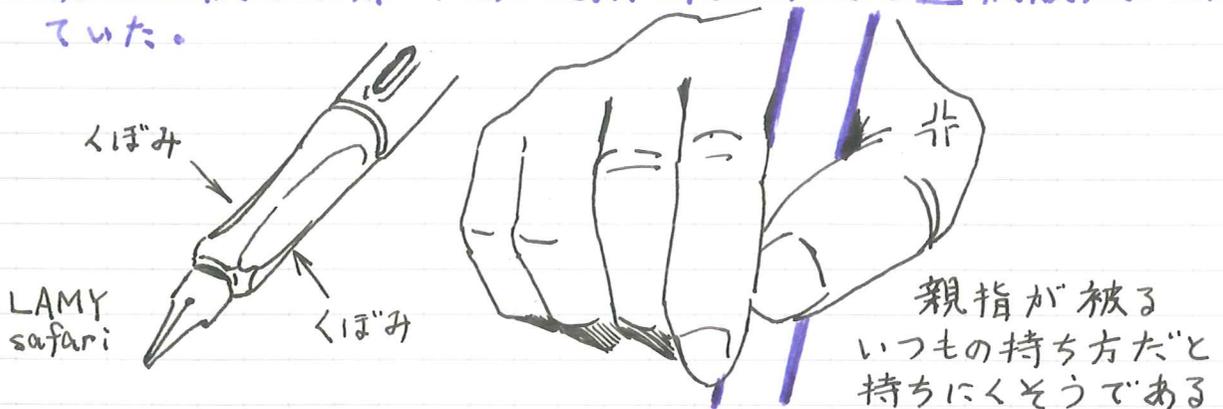


靴や財布、車など年齢相応のアイテムを所持している人もカッコイイと思う反面、「そんなことにお金使うなら釣り竿でも買うよ」と考えている私の身なりは、チーフそのものである。

しかし、トカチニッチで、年齢相応のカヌーや、年齢相応のチェーンソーを持つ仲間を見ていると、対抗心が芽生える。

今年で四十路、あとは死ぬだけ...という所まで生きた自分へのご褒美に万年筆でも買ってやることにする。

万年筆デビューである。何を選べば良いか見当もつかないので安めのもので試してみる。年齢相応という動機はどこへ。LAMY safari が入門に良さそうなのだが正しい持ち方になるようにくぼみが付いている。恥ずかしいことに私はペンに親指を被せて持つため「絶対持ちにくい」と選択肢からはずしていた。



(ググって)

ただ調べてみると万年筆は正しい持ち方をした方がインクの出も良く、筆圧も弱くできるそうだ。読んだページにあった「これを機にペンの持ち方を直してはいかが?」という言葉に促され、LAMY safari を買う。M(中号)に加えEF(極細)も買ってしまふ。

今のところ字を書くのが少し楽しい。すぐ飽きたらうが、四十歳の誕生日に、今度こそ年齢相応の万年筆を買う可能性も否定できない。「どうせすぐ高いヤツ欲しくなるんだから最初から高いの買いなよ」という娘の言葉が頭をよぎる。